



教育目標

児童生徒一人一人の病気や障がいに応じた教育により、確かな学力を育み、自他を尊重する豊かな心や健やかな身体を養い、社会の変化と向き合いながら将来をより豊かに生きようとする調和のとれた人間の育成に努める。

経営方針

「地域の中で共に自己を磨き、希望をもって生き生きと学ぶことができる学校」をめざして

校長 加藤 香洋

- ◎ 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進に向け、地域や医療、家庭と連携を図り、児童生徒一人一人の病状と教育的ニーズに応じた個別最適化された学びの充実を図ります。
- 学習指導要領と「学校教育の指導の重点」に基づき、ICT 機器を効果的に活用し、「わかる授業」と「考え表現する力の育成」に努めます。
- 体験的、協働的な学びを通して、「豊かな心」と「健やかな体」の育成を目指します。
- 児童生徒の自立と社会参加に向けた意識を高め、将来の希望を実現できるよう計画的・組織的に進路指導を行います。
- 小中学校、高等学校との連携を円滑にし、病気療養児の学習支援や教育相談の充実を図ることで、会津地区の病弱教育を推進します。

I 「わかる」「できる」授業づくりに努めます

- ① 理解の特性に応じた「わかる授業」づくりに努め、基礎的・基本的事項の定着を図ります。
- ② 対話と協働による学びを推進し、主体的に考え、表現する力の育成に努めます。
- ③ ICT機器や県立博物館等を効果的に活用し、探究的に学ぶ力とともに生涯学習への意欲を高めます。

II 自分の強みをいかし、共に認め、支え合い、たくましく生きる力を育てます

- ① 体験的な活動を充実させ、視野を広げ、社会性と自己肯定感を育みます。
- ② 病気や障がいへの自己理解を促し、自他の尊厳と健康を尊重し行動する態度を育成します。
- ③ 共に学び合う活動を通して互いに協力する態度を育成するとともに個性の伸長を図ります。

III 関係機関との連携を図り、自立と社会参加に向けた教育を進めます

- ① 社会参加と自己実現の意味を理解し、自らを高め積極的に行動する力を育みます。
- ② 職場見学や社会体験を通し、望ましい勤労観や職業観を育成します。
- ③ 医療機関や福祉機関と情報を共有し、連続性のある適切な指導と支援を推進します。

IV 会津地区の病弱児童生徒の教育を支えます

- ① 病気療養児の連続した学びを保障するため、小中学校と連携し、適切な学習支援を行います。
- ② 病気療養等の高校生に対する相談や学習保障の支援を実施します。
- ③ 地域のニーズに応じて研修や教育相談を実施し、センター的機能を発揮することで地域に貢献します。

安全で安心して学べる学校づくりを進めます。

- ① 児童生徒の命を守る防災・防犯体制の強化、学校事故の未然防止等、学校の安全性の向上に努めます。
- ② 児童生徒の人権を尊重し、多様性を尊重する教育を進めるとともに、教職員の倫理観と使命感の高揚を図り事故や不祥事を防ぎます。

「開かれた学校」をめざし、情報を積極的に発信しています

